

青葉の森から



イベント風景

2016年1月5日発行



10月、12月の「親子で一緒に森あそび！」



青葉の森で紅葉狩り～開業予定の青葉山駅から近い紅葉スポットを歩こう！～



10月、12月の大人の森あるき

ついに地下鉄東西線が開業しました。青葉の森緑地の近くにも「青葉山駅」があります。これまでは積雪や路面凍結により、車で来園することは困難だったと思いますが、ぜひ地下鉄で青葉の森緑地に雪景色を見にいらして下さい。

生き物の気配を中々感じる事ができない季節ですが、森の中には多くの生き物が確かに存在しています。一見静かな森も五感を研ぎ澄ませてみれば、様々な生き物が活動している痕跡を見つけることができるかもしれません。(佐)

それって本当？



ある時、小学生から「なぜミズキの維管束は引っ張るとちぎれずに伸びるの？」という質問をされました。維管束とは、根で吸収した水や無機物を運ぶ道管と光合成で作った栄養などを運ぶ篩管で構成されているものです。どうして小学生が維管束なんて言葉を知っていたのかな・・・？

私もミズキの維管束が伸びることは知っていましたが、落ち葉になってからも維管束を引っ張ることができるのか？他にも維管束が伸びる樹木はあるのか？という新たな疑問がわきましたので、試してみました。



ミズキの葉っぱです。秋には黄葉していましたが、木から落ちてこんな色になりました。

葉っぱの柄をちぎると白っぽい糸のようなものが伸びて来ました。これが維管束です。

一本だけではなく、何本も通っていました。

ミズキの落ち葉で維管束が伸びることは確認できました。葉が枯れたからといって維管束もすぐに壊れたりするわけではないようです。

次に、ミズキ以外の樹木で真冬でも緑色のまま木についている葉っぱ（常緑樹）で試してみました。



アオキ・シロダモ・サンゴジュで試してみました。アオキ・シロダモは維管束が伸びませんでした、サンゴジュ（上の写真）は維管束が伸びました！

しかし、サンゴジュはミズキとは違う種類の樹木です。探せば他にも同じような樹木があるのかな？

<まとめ>

全ての樹木がミズキのように維管束が伸びる分けではありません。維管束が引っ張られても中々ちぎれずに伸びる理由については、まだ詳しく解明されていないようです。

私は、維管束は水や栄養を樹木の体中に行きわたらせるための大事な組織だから、丈夫な作りになっているのだろうと考えています。しかし、どうして全ての樹木の維管束がミズキやサンゴジュのように丈夫にできていないのかが不思議です。皆さんはどうしてだと思いますか？(佐)

青葉の森の樹木③ “マツ”

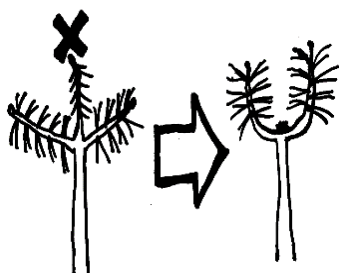


お正月といえば門松。マツは年中葉を落とさず緑色を保つ事から、おめでたい木とされ飾られています。園内にはアカマツがあります。スギのように幹が真っすぐではなく、くねくねと曲がっているのがほとんどです。なぜこのような形になるのでしょうか？

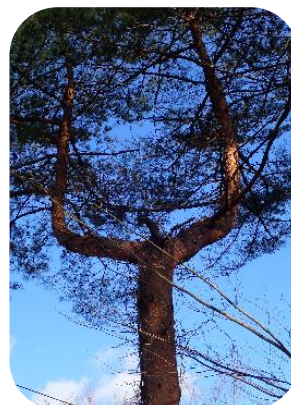
曲がった幹

マツは同じ位置から複数の枝が放射線状に出ます。その先端が風、病気、害虫などで傷がついたりして枯れた場合、最も高い位置にある横枝が上に曲がりながら成長し曲がった幹になります。

もう一つの理由は、日当たりを好むため、ほかの木の枝が近寄ってくると少しでも光の多い方向へ伸びていきます。そのため森の中のマツは曲がった幹が多くなります。



先端が枯れると横枝が上に伸びる



園内の曲がったU字の幹



横枝は上部だけ

針葉樹の多くの横枝は横に伸びるが、マツは先端（頂芽）が損傷すると横枝の中で最も上位にある強い枝が上に伸び主軸となる。

「尾根マツ、谷スギ、中ヒノキ」とは？

植林をするときの適した樹種を表した言葉です。尾根に植える樹木はマツが適した樹木とされています。水分を必要とするスギは谷に、それ以外の場所にはヒノキが適すとされています。マツは日光を十分に受けないと成長できない陽樹なので、栄養のある土地では他の植物の日陰になって育つことが出来なくなります。日当たりのいい乾燥地の尾根に生え、競争相手になる植物が生えないようなきびしい環境に耐えています。それには耐えられる理由があります。アカマツは根に菌根（植物の根と菌類とがお互い助け合うしくみ）を作っているからです。菌は根から糖などの栄養をもらう代わりに水、窒素、ミネラルを吸収してマツに送ります。お互いにギブアンドテイクで共生しています。そのためマツはやせた地など他の樹木が育たない乾燥した尾根で生育できるのです。

松ヤニ

人は怪我をすると血が出ます。血は固まり、かさぶたになりやがて元の皮膚になります。これに似ているのが松ヤニです。マツは傷を受けると、すぐに松ヤニが出てきて傷口をふさぎ、病害虫の侵入や水分の蒸散を防ぎます。傷ついた細胞は死にますが小さな傷は巻き込まれ、傷口がわからなくなります。その松ヤニの利用としては、野球のピッチャーがボールを投げる前に触る白い粉の滑り止め（ロジン）、バイオリンの弓（馬のしっぽ）に塗って滑りを止め音を出す、紙の中に含ませインクのにじみを防ぐなどに使われています。

園内のアカマツは、周りに広葉樹が成長してきて横枝を伸ばす事ができなくなり、上の方だけ葉を付けた樹形が増えてきました。また菌根も、広葉樹の中では他の細菌に負けてしまいます。そのために広葉樹の中にあるマツが姿を消すことになるかも知れません。自然の中でのしくみでもあるため今後も見守りたいと思います。（あ）



青葉の森緑地 冬景色もいいよ！

地下鉄東西線も開業し、雪道の運転を心配しなくても「青葉の森緑地」に来られるようになりました。動きを止めた世界が広がっていますが、よ〜く目をこらすと春を待ちわびる生き物の気配をそこかしこに見つけることができるでしょう。まだ誰も歩いていない新雪に足あとを残しに来ませんか？（干）



冬芽も道しるべも綿帽子



雪まくり現象。
見つけられたら
Lucky!



陽射しに輝く霜もきれい。
ただし早朝だけ！



トピック!



管理センターそばの大小の「青葉池」では、3月過ぎからトウホクサンショウウオが産卵を始めます。そっとのぞきに来て下さい。



地下鉄東西線開業に合わせて ガイドマップを更新しました

地下鉄「青葉山駅」の位置や交通アクセスの情報を更新した新しいガイドマップができました。



管理センターで配布しているほか、仙台市公園緑地協会が管理運営する野草園や七北田公園都市緑化ホールなどの「みどりの施設」でも配布しております。どうぞ手に取ってご利用下さい。



散策路の一部が通行止めになります

平成27年9月11日の豪雨（関東東北豪雨）により「せせらぎ広場」の近くが崩れ、これまでも通行止めとさせていただいていましたが、いよいよ年末から本格的な復旧工事が始まりました。ご利用される皆さまの安全のため、通行止め範囲を下図のとおり広げております。なお「モミジのみち」は散策可能ですが、



赤い範囲は
通行止めです

工事用車両が通行します。ご利用の皆さまには十分注意して工事しておりますので、どうかご了承願いますとともに、通行止め区間には決して立ち入らないようお願いいたします。

工事完了予定は平成28年秋頃となっております。詳しくは管理センターまでお問い合わせ下さい。

緑の破線(モミジのみち)は散策可能ですが、工事用車両も通行しますので、お気を付け下さい。



今後のイベントのお知らせ

親子で一緒に森あそび！



日 時：毎月第3土曜日（1/16、2/20、3/19）
午前10時～11時半

内 容：親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

対 象：4歳以上の未就学児と保護者 15名〔先着〕

持ち物：飲み物、雨具、寒くなく歩きやすい服装



（セリバオウレン）



（マンサク）

大人の森歩き「春を待つ季節」編

日 時：2月27日（土） 午前10時～正午

内 容：今年度では最後の森あるきです。待ちわびた春を探して森の中を散策します。

対 象：大人向け 15名〔先着〕

持ち物：飲み物、雨具、寒くなく歩きやすい服装

※イベント申込み日については各月の市政だよりをご覧ください。

ロープ遊び



【綱渡り】



【ターザン】



【ブランコ】

土日は樹にロープを張って遊具を設置することができます！樹にキズをつけるとかわいそうなので常設はしていませんが、ご希望があれば声をかけて下さいね♪

【団体利用のご案内】もっと青葉の森緑地を楽しみませんか♪



レンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。ご要望に応じて活動の内容は準備させていただきます。料金は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

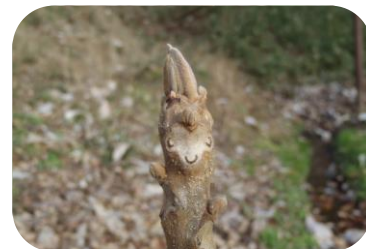
【青葉の森管理センター Tel：022-263-2101】



冬芽に会いに行こう！

冬の森は、花が咲いてなくて何も無い感じですが、よく見るとこの時季ならではの魅力が隠れています！

植物を見分けるには、勉強して覚えなくてはいけなくて、難しいことだと思いがちですが、森の中にいる妖精や動物の顔を探す遊びをしながら何の木なのかがわかる、楽しい方法がありますよ。



ぴょん！うさぎさんだよ。



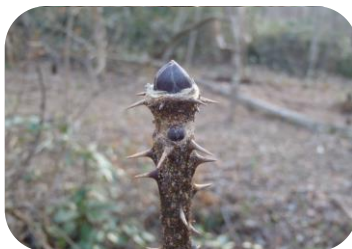
カエルみたい！

それは、葉や花の芽の「冬芽（ふゆめ）」や、葉が落ちたあとの「葉痕（ようこん）」を見ることです。

帽子や角のように見えるものは葉や花の芽、顔の輪郭は葉が付いていたところ、目や口に見えるのは水や養分を通すパイプです。

木の種類で特徴が異なるため、何の木か名前を知る手掛かりになって調べることができます。

形が個性的で可愛いものも多く、何に見えるか想像するとおもしろいです。



ゴン太く〜ん！ ノッポさ〜ん！ …わかるかな？



あたたかそうな帽子だね！



コウモリ？

名前は覚えられなくても、「あっ！この顔は逢ったことがある」って思い出して、きっとうれしくなりますよ。

お気に入りの顔を探しに、森へ出掛けてみてはいかがですか？（新）

青葉の森緑地 アクセス



(中央入口)



【仙台市営地下鉄東西線】

仙台駅から9分 八木山動物公園駅から3分
⇒青葉山駅から【青葉の森管理センター】まで徒歩約15分

【仙台市営バス】

15番のりば交通公園循環⇒交通公園前 青葉の森緑地【三居沢入口】まで徒歩約10分
15番のりば交通公園行⇒川内営所前 青葉の森緑地【三居沢入口】まで徒歩約5分

青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）
発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102
ホームページ：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/
ブログ：『青葉の森緑地 ブログ』で検索して下さい